



## 第三者評価結果の概要

### 評価機関総合コメント

どんぐり共同保育所を4年間にわたって運営しながら、公立保育所建設運動をした結果、市立松通保育所が閉所され、それと同時に共同保育所は閉所しました。しかし、待機児が出たため、1969年あらぐさ共同保育所を誕生させました。そこで33年間乳児保育を実践し、2002年4月に認可を受けゼロ歳から2歳まで、30人定員の現在のどんぐり保育園となり、7年余り経過したところです。常に住民の「こまっている実態」を何とかしようとして踏ん張ってきた歴史が感じられる保育園です。

園に入ると、狭いけれどもいろいろな植物に出会うことができ、保育室のカウンターには、たくさんのお虫が飼われ、さなぎになったり蝶になるところが観察できます。子どもたちの表情も明るく、送迎時の保護者の表情からも「安心して預けている」様子が伺えました。アンケートの回答も含め、信頼関係の厚さを感じました。

乳児保育の実践の積み上げの上に、現在増築の計画があり、さらに地域のニーズに応じていく保育園としての今後に期待します。

### 特に評価の高い点

- ・あらぐさ共同保育所誕生当時から働いている職員が園長、主任をふくめて3人居り、地域との関係や、保育内容を継承し積み上げています。
- ・どの職員も子ども1人ひとりにやさしく接しており、大人の笑顔の中で保育が展開されています。
- ・毎日散歩に出かけ、保育の工夫がされています。
- ・給食に対する配慮が、調理員を中心に良く行き届いています。特に、食事のアレルギー食や離乳食については配食を間違わないための確認を複数でしており、調理員と保育士の連携が密に取れています。

### 改善を求められる点

- ・「わかりきっている」こと、「いつもしている」こととして、改めて記録を残したり文書化していない事柄もあります。職員の共通理解を深める上でも、利用者の理解を得るためにも必要な書類を整えておくことは大切です。
- ・建物の構造上、一時保育や地域支援事業など、地域のニーズに応じて取り組みきれない現状があります。いろいろな方法を積極的に検討し取り組まれることを期待します。

### 第三者評価に対する事業者のコメント

共同保育所から認可保育所の建設、そして同時に社会福祉法人としてスタートし7年が経過しました。日々、豊かな保育をつくるためにせいっぱい努力してきました。

今回第三者評価機関による評価を受け、社会的に認知されている法人としての役割、様々な資料の準備、そして利用者にもきめ細かく周知を行っていくことが重要であると学びました。

今まで日々夢中で運営を行ってきた感がありますが、今回評価を受けたことで、何が不足しているかが明確になり、立ち止まって学習することができました。

今まで積み重ねてきた保育実践を増築を機会に5歳児までの保育園としてより細かく学習と実践を深め、利用者の方一人ひとりに今まで以上に信頼される保育園でありたいと決意を新たにしています。

## 評価細目の第三者評価結果

### 児童福祉分野の評価基準

判 断 基 準 項 目	評価結果
評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	
Ⅰ-1 理念・基本方針	
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b
評価機関コメント	
<p>従来配布されていた「入園のしおり」の中の、理念・基本方針に該当する文章を、「理念」「基本方針」として、この間わかりやすく整理されました。職員・利用者にも周知する努力がされています。今後も繰り返し周知する機会を持つことが必要です。</p>	
Ⅰ-2 計画の策定	
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(2) 計画が適切に策定されている。	
Ⅰ-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	a
Ⅰ-2-(2)-② 計画が職員や利用者等に周知されている。	b
評価機関コメント	
<p>増築計画も事業計画の中にあり、理事会で承認し、子どもの定数増については市の許可も下りています。したがって、計画の策定等組織的に行なわれ、『園だより』でも知らされているのを確認しました。周知状況は不十分な面もあり、今後の円滑な建設推進のためにも、一層の周知が必要だと思えます。</p>	

## I-3 管理者の責任とリーダーシップ

## I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。

I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	b

## I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b

## 評価機関コメント

長年、管理者として、『行動』で責任を明確にしてきたことが伺えます。保育の質の向上には意欲的で、働きやすい職場作りへの配慮が見られます。保育についてはリーダーシップが発揮されていますが、管理、運営の向上に向けての取り組みとリーダーシップは今後いっそう努力が求められます。

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が確に把握されている。	b
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	b
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	c

## 評価機関コメント

事業経営をとりまく情報等、把握する努力はしていますが、専門家の指導・助言を受ける機会が系統的でないことなどから、改善につながりにくい状況が見られます。専門家の指導・助言を得られる体制を組織的に作ることを期待します。

Ⅱ-2 人材の確保・養成		
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	b
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
Ⅱ-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	b

## 評価機関コメント

年度末には、職員の個々面接をおこない人事考課をする上での参考にするなど保育サービスの質を確保するための人事は、具体的におこなわれています。しかし客観的基準を明示するなど今後一工夫が必要です。また、研修後必ずレポートを提出し、保育サービスのレベルアップにつなげる努力をしています。今後は、個々の研修計画も含め、質の向上に向けた組織的検討が必要です。

## Ⅱ-3 安全管理

Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。

Ⅱ-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
Ⅱ-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

## 評価機関コメント

子どもの安全確保のため、組織として基本的な体制の整備がされ、職員会議で“子どもの安全”を議題に、全職員の危機管理意識の構築が図られ、定期的に防災・避難訓練をしています。今後も、職員一人ひとりの責任と役割を明確にした管理体制にもとづく、研修・訓練の充実を図ることを期待します。

## Ⅱ-4 地域との交流と連携

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	b
Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	b

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。

Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

## 評価機関コメント

常に地域のニーズに応え構築してきた共同保育所の実践をもとに、保育園の現状を最大限活用し、地域福祉の向上に努めています。さらに乳児保育の拡充と幼児保育実施に向け増改築計画の具体化が進み始めています。その内容を保護者・職員・地域に周知し、みんなの創意で増改築による環境改善を実現し、関係機関との連携を強めながら、保育所の機能の地域への還元と交流が進展することを期待します。

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	a
Ⅲ-1-(2)-②	利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

## 評価機関コメント

保育園の成り立ちから、常に利用者本位のサービス提供について心がけていることはアンケートに寄せられた保護者の声や職員の聞き取りからも伺えました。利用者が毎日、厨房と保育室の間を通る施設構造も利用者の意向把握に活かされていました。職員の中に保護者会担当者も配置され、利用者個々の意向は勿論、利用者全体の意見や苦情解決への努力も見られます。利用者のプライバシー保護などはいっそうの熟知と周知への努力が必要と思われます。

## Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 質の上昇に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	b
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

## 評価機関コメント

職員の聞き取りの中で、毎月の職員会議や保育会議では給食調理員も含め、全体で率直な意見交換が行われている様子が伺えました。中間総括や年度末総括においてもサービス事例や保育のまとめについて職員間で討議し改善に向けて努力しています。しかし課題について文書化し改善へ向けて組織的に取り組むことが求められます。保育園増設を機に職員会議での記録などを定着させ、サービスの質の向上へいっそうの努力を期待します。

## Ⅲ-3 サービスの開始・継続

## Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。

Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a

## Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。

Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
-----------	-------------------------------------------	---

## 評価機関コメント

乳児園であることから、職員はサービス開始にあたり、保育園を初めて利用する保護者に配慮して、園内の見学や説明を丁寧に行い、安心して利用できるよう心がけています。また幼児になると他園へ移るため、継続についても適切な対応を行っていることが伺えました。保育所保育指針が告示化され、園の規模も大きくなるこの機に、入園のしおりや園のホームページの改善なども行い、いっそう利用希望者への必要でわかりやすい情報の提供が行われることを望みます。

## Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

## Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。

Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a

## Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。

Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

## 評価機関コメント

大阪市の指導に沿って、子どもたちの健康や生活状況を把握し、児童票や保育のまとめに記録し、こども一人ひとりへの対応も明示されています。半年ごとに保育全体についての総括会議も行い、計画についての見直しや検討も行われています。今後、保育所保育指針に基づき新たに策定された指導計画に基づき、職員間での周知や評価、見直しにいっそう努力してください。



## 児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-1 子どもの発達援助		
1-(1) 発達援助の基本		
A-1-(1)-①	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
A-1-(1)-②	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
1-(2) 健康管理・食事		
A-1-(2)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-1-(2)-②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-③	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
A-1-(2)-⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-1-(2)-⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
A-1-(2)-⑦	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-1-(2)-⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
1-(3) 保育環境		
A-1-(3)-①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
A-1-(3)-②	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a
1-(4) 保育内容		
A-1-(4)-①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
A-1-(4)-②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
A-1-(4)-③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
A-1-(4)-④	身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	a
A-1-(4)-⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a
A-1-(4)-⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	非該当

## 評価機関コメント

保育方針に基づき、地域や保護者の実態を考慮して保育計画が作成され、適切な子どもへの発達援助が行なわれています。特に乳児保育での中心的課題である健康管理・食事について、個々の子どもの現状に則した丁寧な計画・実践・振り返りが行なわれています。日課表や家庭との日々の連絡帳・登園時の受け入れ・保護者との引継ぎの様子から、保護者と共に乳児期の健康管理を意識的に取り組んでいることがよくわかりました。また調理室（調理員）と保育室（子どもたち）が密にかかわる環境・関係が築かれ、それが子どもたちの旺盛な食欲に如実に現れていました。ゼロ歳から2歳の3クラスともゆったりと落ち着いた雰囲気であそび・生活を楽しんでおり、子どもたちの健やかな成長発達を伺うことができます。

2010年度、園舎の増改築に伴い就学前3、4、5歳児の保育が新たに始まる計画なので、全職員が幼児期の保育・発達援助について、計画的に研修・学習されることを望みます。

個別的に配慮・支援を要する子どもはいますが、障害児入所制度の適応を受ける園児がないので障害児保育関係の評価欄は「非該当」としてしています。

## A-2 子育て支援

## 2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

A-2-(1)-①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
A-2-(1)-②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
A-2-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
A-2-(1)-④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
A-2-(1)-⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a

## 2-(2) 一時保育

A-2-(2)-①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	非該当
-----------	-------------------------------------------------	-----

## 評価機関コメント

基本方針、各家庭との連絡帳、第三者評価で行なった保護者アンケートなどを通して、入所児保護者に対する育児支援が適切に行なわれていることが確認できます。また、要支援家庭に対する継続的な配慮・支援にも意識的に取り組んでいます。

地域の子育て関係機関との連携をすすめ、増改築による環境改善を活かして、在園児保護者・地域の子育て家庭への子育て支援を進展されるよう期待します。

地域のニーズを十分把握しながらも、現施設環境での実施が不可能な一時保育の評価欄は「非該当」としてしています。

## A-3 安全・事故防止

## 3-(1) 安全・事故防止

A-3-(1)-①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a
A-3-(1)-②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a
A-3-(1)-③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
A-3-(1)-④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
A-3-(1)-⑤	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a

## 評価機関コメント

各種マニュアルが整備され、ヒヤリハットを職員会議の議題として全職員で振り返り、検討しています。今後、非常時の行動組織図に基づき研修・訓練を構築するよう期待します。

## A-4 子どもの発達・生活援助

## 4-(1) 子どもの発達・生活援助

A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	a
-----------	----------------------------------------	---

## 評価機関コメント

子どもへの不適切な対応が行なわれないよう、日々の保育の中でお互いが気づいたことを、園長・主任保育士を中心に職員会議で話し合い、保育者による子どもへの不適切な対応の防止と早期発見に取り組んでいます。就業規則へ体罰の禁止事項を明記されました。

## 利用者(保護者)への聞き取り等の結果

### 調査の概要

調査対象者	保護者
調査対象者数	30世帯
調査方法	保育園からアンケート用紙を配布していただき、返信は直接評価機関に返送する方法で実施しました。

### 利用者(保護者)への聞き取り等の結果(概要)

どんぐり保育園に入園している保護者30世帯を対象に保育園でアンケート用紙を配布し、回収は、評価機関に直接郵送していただく形式で実施しました。  
回収数は、17世帯(回収率56.6%)でした。回答者のほとんどが、通園しているどんぐり保育園を肯定的に捉えているのが特徴的です。

「はい」「いいえ」で回答する18質問項目中(見学希望・入園時の説明・入園後の子どもの様子の把握・感染症発生時の連絡・検診結果の報告・給食内容、子どもの食べ具合の把握・メニューの充実度・保育参加の機会等について)13項目において全員が「はい」と回答されていることからみても保護者が、どんぐり保育園に信頼を寄せ、保育内容に満足されていることがうかがえます。

その信頼感は、「園の特徴」及び園への思いの自由記述において ①家庭的 ②手厚い保育という言葉に象徴されますが、以下具体的に記しておきます。

- ・ 少人数の園のため温かい保育園
- ・ 非常に家庭的で親切です。散歩の回数も多く、買い物の体験をさせてくれる事も良いと思う。
- ・ ものすごく手厚く個人個人の個性をのばしゆったりと保育していただいています。
- ・ お昼ごはんも栄養面を考えていただきながら月齢にあわせて調理していただいているので助かっています。
- ・ 先生方も一人一人の体調を気にかけていただきながら子どもの気持ちを大切にいただいております。

一方、このような肯定的な園への思いを前提に、祝日・病児保育や広い園庭等への要望もありました。特に、増改築に伴う保育への不安を述べておられる点は、今回の評価項目<1-2-(2)-②>における「周知」する課題と重なります。

今後、どんぐり保育園と保護者との関係が一層豊かなものとなるためにも、この「周知」する行為を通して保護者の理解を得られ、保護者と共にどんぐり保育園を築いていかれることを期待します。